

【ストリングラフィ 会場セッティング資料】



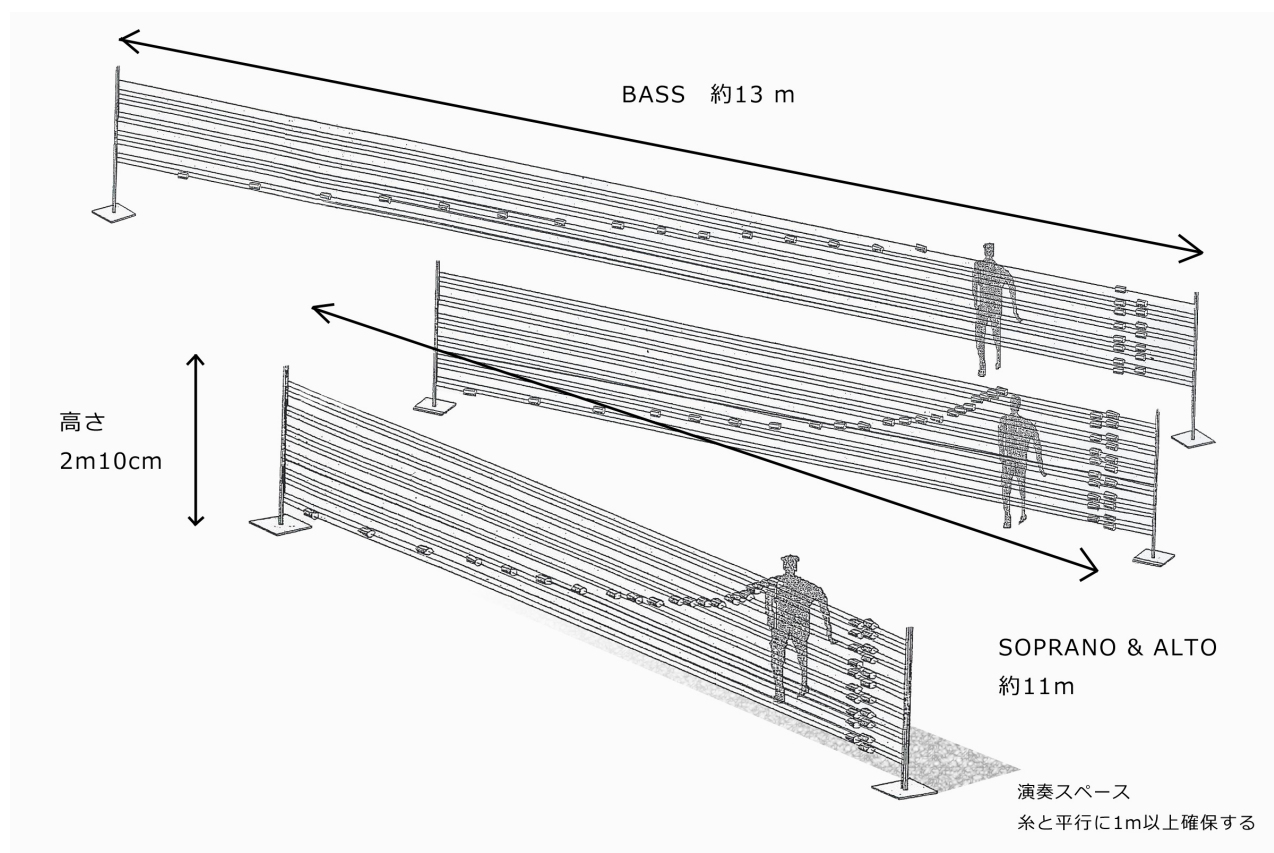
◆◆◆ストリングラフィの会場選びのポイント◆◆◆

ポイント 1:

会場に 2m のアルミバーを設置することができる支柱、出っぱった壁、柱があるか、もしくはこちらで用意しているポールキャットを天井と床に突っ張らせることができること。
(設置例[1][2][3]参照)

ポイント 2:

一番長いベース(BASS)のセット(13m)を設置できる広さがあること。対角線でも可能。



◆◆◆標準設置例◆◆◆

[1] 体育館を利用し、バレーボールコートなどの支柱を利用する方法 (もっとも簡易)

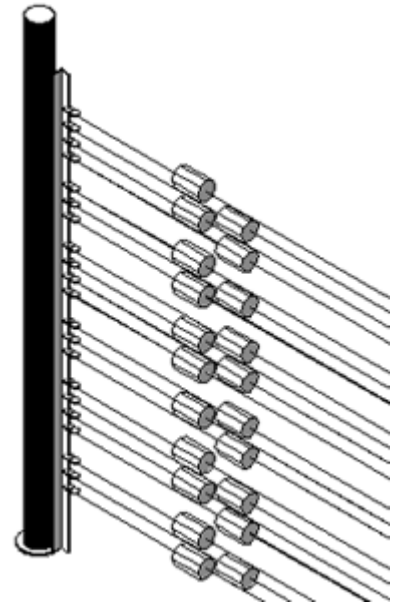
バレーボールコートの支柱:

バレーボールコートの支柱があれば、最も容易にストリングラフィ設置することが可能です。

アルミバー:(長さ約 2m)

L 型のアルミ製棒

支柱には、こちらで用意しているアルミバーをバインド線(針金)でくりつけ、6cm ごとにあけられているアルミバーの穴に S かん(S 型のフック)をひっかけ、糸(楽器)を取り付けていきます。



[2] 天井の高さが 2m10cm～4m40cm の空間でポールキャットを使用する方法 (ただし、天井が平らで、強い力で突っ張るため硬く丈夫であること)

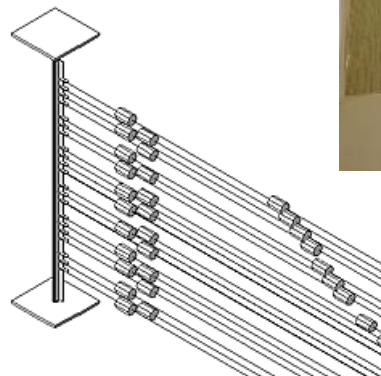
ポールキャット:(直径 4cm)

天井と床にアルミのポールをつっぱらせて簡易の柱を作ります。このポールの長さは調節することができ、天井高 210cm～440cm に対応できます。

木製ベース板:(大きさ W40cm×D40cm×T3cm)

ポールを立てるための土台となる板です。天井と床をつっぱらせるので上下に取り付けます。床との接触面、天井との接触面には滑り止めがついています。

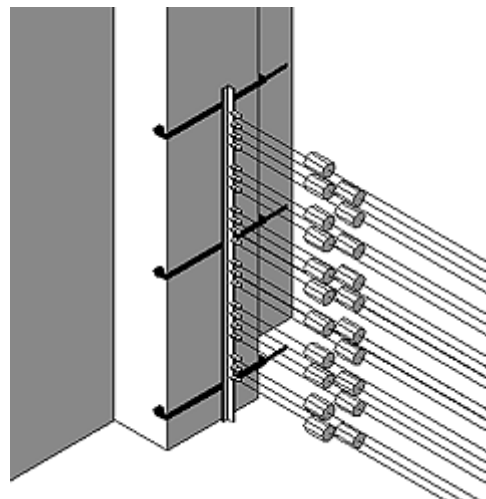
ポールキャットに楽器を設置するアルミバー([1]参照)をバインド線(針金)でとりつけます。



[3] 壁に出っぱったところがある場合にパワークランプを使用する方法

パワークランプ:

パワークランプは、万力のようなもので、壁の出っぱった部分のたて3箇所くらいに挟み込み、固定します。
(パワークランプは、家具などの製作時に接着部を固定させるために使われる 器具です。)
幅 30cm～100cm に対応できます。



このパワークランプに楽器を設置するアルミバー([1]参照)をバインド線(針金)でとりつけます。

[1][2][3]の方法を場所に応じて組み合わせて使用することが可能です。

◆◆◆[1][2][3]の方法では対応できない場合◆◆◆

劇場やエントランスなど、天井が4m40cm以上でこちらのポールキャット等が使用できない場合は以下の方法が考えられます。(作業時間と経費がかかります)

[4] 足場パイプ 1 本を使用した自立スタンド

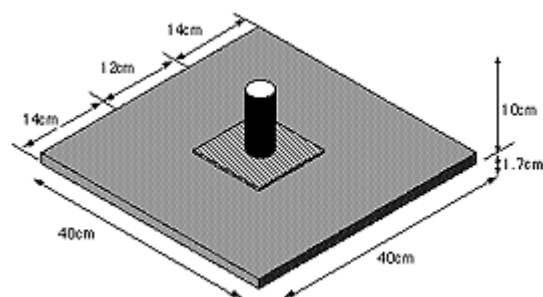
(※安定性が欠けるため、止むをえない場合以外は使用しない)

足場パイプ:(長さ 2m)

鉄製のベース板に足場パイプを差し込んで簡易の柱を作ります。

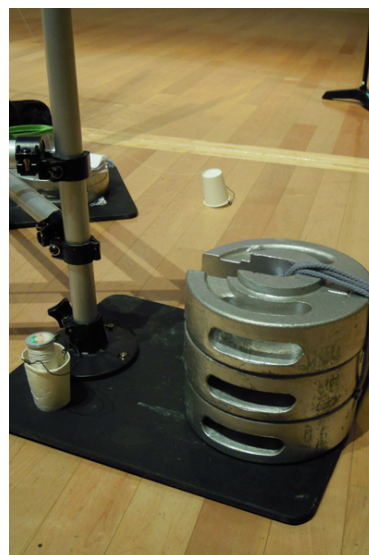
鉄製ベース板:

(重量 20kg、円柱部分の外径 4.1cm、内径 3.5cm)



シズ(重り):

鉄製ベース板が移動しないように 100kg 分の重りをのせる。



[5] 足場パイプを組んだ3角形の自立スタンド

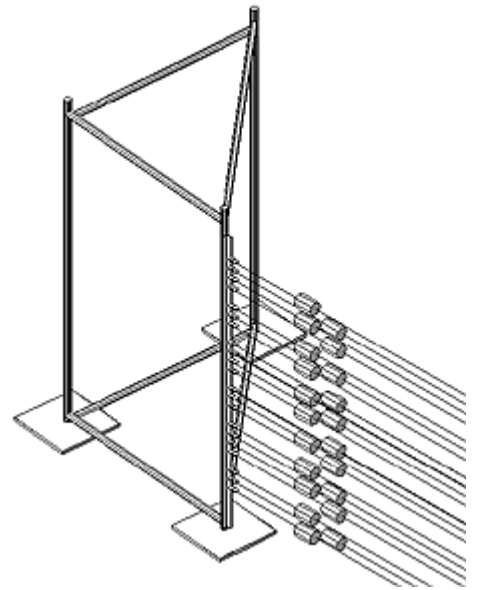
足場パイプ:(長さ 2m)

足場パイプを9本をつかって3角柱状に組み簡易の柱とします。
足場パイプのジョイントはクランプでつなぎ、固定します。

鉄製ベース板:

サイズは[4]参照

[4][5]ともに足場パイプにアルミバーをバインド線(針金)で取り付け
け([1]参照)楽器を設置します。



足場パイプを利用した設置例

◆◆◆空間における楽器の配置例◆◆◆

演奏者はそれぞれの糸にそって、片側約 1m の演奏スペースを使用します。

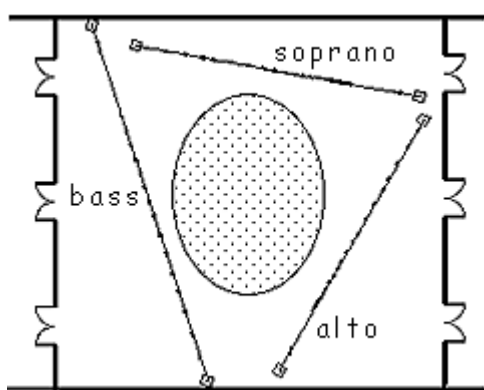
○で囲まれているスペースを客席や装飾用の糸を張ることなどに利用します。

楽器の配置に関しては、下記の例以外にも、場所にあわせて柔軟に対応することができます。

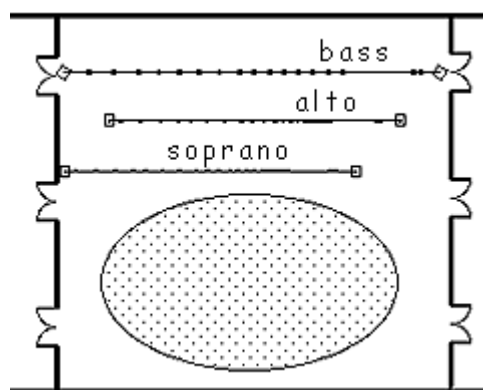
* (例 1)～(例 3)は、空間全体にポールキャットなどの支柱が使える場合の配置例

(例 4)は、壁の柱や梁、ドア(鴨居部分)の高さを利用した場合の配置例

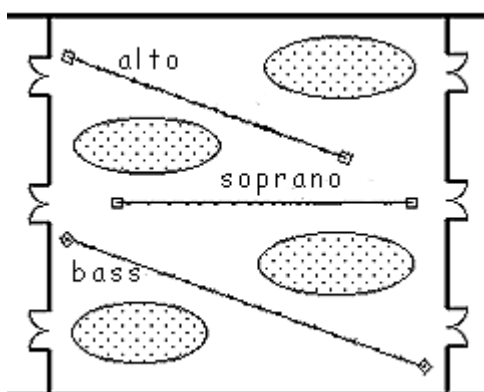
(例 1)



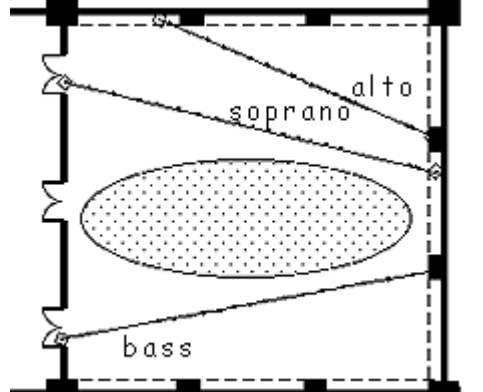
(例 2)



(例 3)



(例 4)



その他、セッティングに関する詳しいお問い合わせ・ご不明点は以下までご連絡願います。

Studio EVE

〒156-0043 東京都世田谷区松原 1-4-13

TEL:03-5376-3633FAX:03-5376-8055

E メール:info■stringraphy.com(■=@) 担当 八重樫